

平成 29 年度

ビジット・ジャパン地方連携事業

中部運輸局 募集要項

．事業の目的

「明日の日本を支える観光ビジョン」及び「観光ビジョンの実現に向けたアクション・プログラム 2016」の趣旨にのっとり観光を日本の基幹産業へ飛躍させ、また、質の高い観光立国を目指すべく、より戦略的にインバウンド政策を推進する。

．事業の概要

運輸局は、地域（地方公共団体・観光関係団体・民間事業者等）と連携し、本実施方針に沿って、外国人旅行者に魅力のある地域の観光資源を海外に発信し、外国人旅行者の訪日促進を図る。

【対象者】地方公共団体・観光関係団体・民間事業者等

【国の負担】総事業費の 1 / 2 を上限として負担（補助金や交付金ではなく連携事業として、その一部を負担するもの）

総事業費には、VJ 事業の実施に真に必要な範囲に限り、連携先の旅費を含めても良いものとする。

．対象となる市場

平成 29 年度 VJ 地方連携事業実施方針（観光庁）における対象市場

（中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナム、韓国、米国、オーストラリア、英国、フランス、カナダ、ドイツ、フィリピン、インド、イタリア、ロシア、スペインの計 20 市場）

その他市場については、事前に要相談

．採択基本要件

- 1．地方の具体的な特色や資源が、具体的にどの国のどの層へ訴求するか、分析が明確で高い効果が期待できる事業計画を策定すること。事業計画の策定に当たっては「明日の日本を支える観光ビジョン」及び「観光ビジョンの実現に向けたアクション・プログラム 2016」の趣旨を踏まえつつ、市場別訪日プロモーション方針及び中部運輸局海外プロモーション方針（2016 年 9 月版）と整合の取れたものであること。
- 2．広域での事業構築・連携が行われていること。ただし、「明日の日本を支える観光ビジョン」及び「観光ビジョンの実現に向けたアクション・プログラム 2016」の趣旨に沿う事業であって、広域に対して波及効果が期待される事業は、この限りではない。
- 3．事業成果の把握が確実にできるものであること。
- 4．同じ市場の関連他事業との連動や個々の事業効果をより上げるため、JNTO 等からの意見を勘案すること。

- 5 . 東京やゴールデンルートに集中する訪日外国人旅行者の地方への誘客及び四季折々の魅力をPRし、年間を通して訪日需要を創出するもの
欧米豪市場や富裕層を対象として実施するものや、戦略的なビザの緩和と一体となった事業等、新たな市場を開拓するもの
訪日教育旅行の誘致等、将来の訪日旅行のリピーター増加に資するもの
関係省庁が実施する観光振興に資する取組と連携するもの
- 6 . 広域観光周遊ルート形成促進事業の主要広域観光ルート全体及び認定されたモデルコース全体を海外に対して発信する事業については、VJ地方連携事業では実施しないものとする。

．ブロック方針

(別添)「平成29年度VJ地方連携事業中部運輸局説明会資料」を参照

．提案書の記載ポイント

- 1 . 広域での事業構築・連携が行われているか。もしくは、全国に先駆ける先導的な事例で、広域に対してどのような波及効果が期待されるか。
- 2 . 以下が明確に記載されているか。
何のテーマで、どの観光地(特色や資源等)を、どういったルートで売
のか。
どのような手法・目的・目標により、事業を実施するのか。
いつの時期(機)の商品化を目指すのか。
ターゲットとなる市場・対象層に対し、なぜ により訴求するのか、
またこれにより、どういった効果が期待できるのか。
どのような手法で事業成果を把握するのか。
- 3 . 当該地域の中長期的な外国人訪日促進の方針や計画に即したものであって、
VJ地方連携事業の実施により、当該計画の加速や地域の総意の結集に資
するものか。
- 4 . 特に継続して実施する事業について、過去の実績を元に、戦略的に事業を
企画・展開しているか。PDCAサイクルが確立されているか。